

平成28年9月期 決算説明会

テーマ：充実の1年、バランスの取れた投資により次の成長基盤を確立

2016年11月7日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第47回

GMO PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2016年11月7日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 2016年9月期 業績・Over View
2. 当社のIssue
3. 2017年9月期 業績予想
4. 今後の成長戦略
5. 財務ハイライト
6. 参考資料等

1. 2016年9月期 業績・Over View

1.1 業績サマリー①

コミットメント（25%成長）達成、総合決済サービス会社の基盤確立

	期初計画	2016年9月期	期初計画比	2015年9月期	前年同期比
売上高	11,413百万円	12,113百万円	+6.1%	9,030百万円	+34.1%
営業利益	3,741百万円	3,819百万円	+2.1%	2,977百万円	+28.3%
営業利益率	32.8%	31.5%	-1.3ポイント	33.0%	-1.5ポイント
経常利益	3,750百万円	3,780百万円	+0.8%	3,000百万円	+26.0%
当期純利益	2,335百万円	2,910百万円	+24.7%	1,853百万円	+57.1%
EBITDA		4,191百万円		3,274百万円	+28.0%
一株当り配当額	22.0円	27.0円	+5.0円	18.0円	+9.0円

稼働店舗数（期末）

決済処理金額（概算：年度）

決済処理件数（概算：年度）

KPI	77,256店	2兆円	9億件
-----	---------	-----	-----

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

1.2 業績サマリー②

過去最高の増収率、株主還元は特別利益も含め5円増配した27円を予定

■ 2016年9月期のポイント

売上高： 34.1%増・・・2005年上場来最高の増収率

決済代行事業が順調（実質20%増）

金融関連事業（MSB）が急拡大（163%増）

営業利益： 28.3%増・・・コミットメント（25%成長）達成

決済代行事業の営業利益率向上（56.2→58.7%）

グループ会社が予想以上に利益貢献

集客支援サービスの利益貢献

経常利益： 26.0%増

円高に伴う為替差損の計上

当期純利益： 57.1%増

GMOフィナンシャルゲートの子会社化に伴う段階取得差益（395百万円）

投資有価証券売却益（194百万円）

株主還元： 配当政策の基本方針（連結配当性向35%）に沿い27円を予定

1.3 2016年9月期の振り返り

次の10年に向けたアクション

High Lights

- ・国内外の大手加盟店や大型案件の獲得
- ・金融機関向けサービスの拡大
- ・都税（zei.tokyo）以降、税金分野で当社サービス採用が相次ぐ
- ・対面市場の成長領域を取り込み

- ・早期入金サービス等、MSB関連アセットの順調な積み上がり
- ・「GMO後払い」の急拡大

- ・集客支援サービスの拡大と収益性向上

セグメント

決済代行業業

金融関連事業

その他

Low Lights

経営戦略及び基盤

- ・コミットメント（25%以上の増益）達成
- ・GMOフィナンシャルゲートの子会社化
- ・MACRO KIOSK社の子会社化
12の国・地域に拠点、約250名の優秀な人材
- ・業務提携型ビジネスが拡大

- ・急激な円高による為替影響

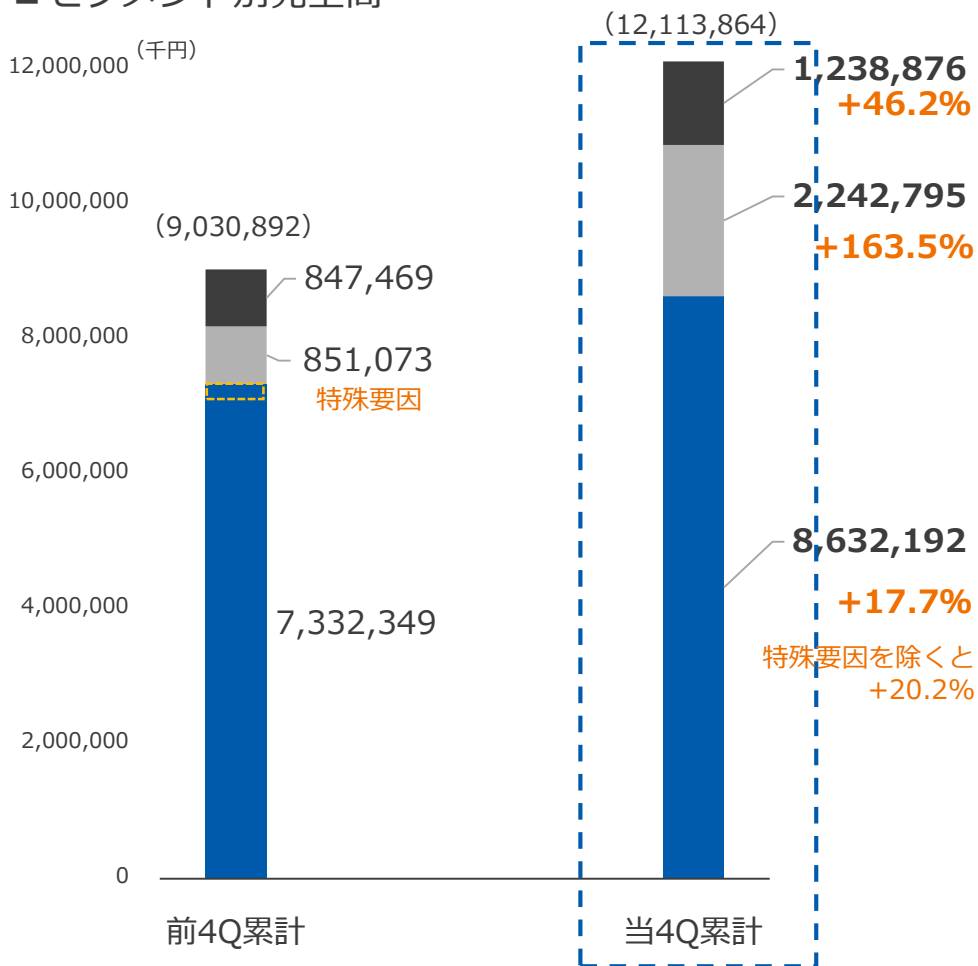
成長戦略
海外事業
投資等

1.4 セグメント別売上高・営業利益（累計）

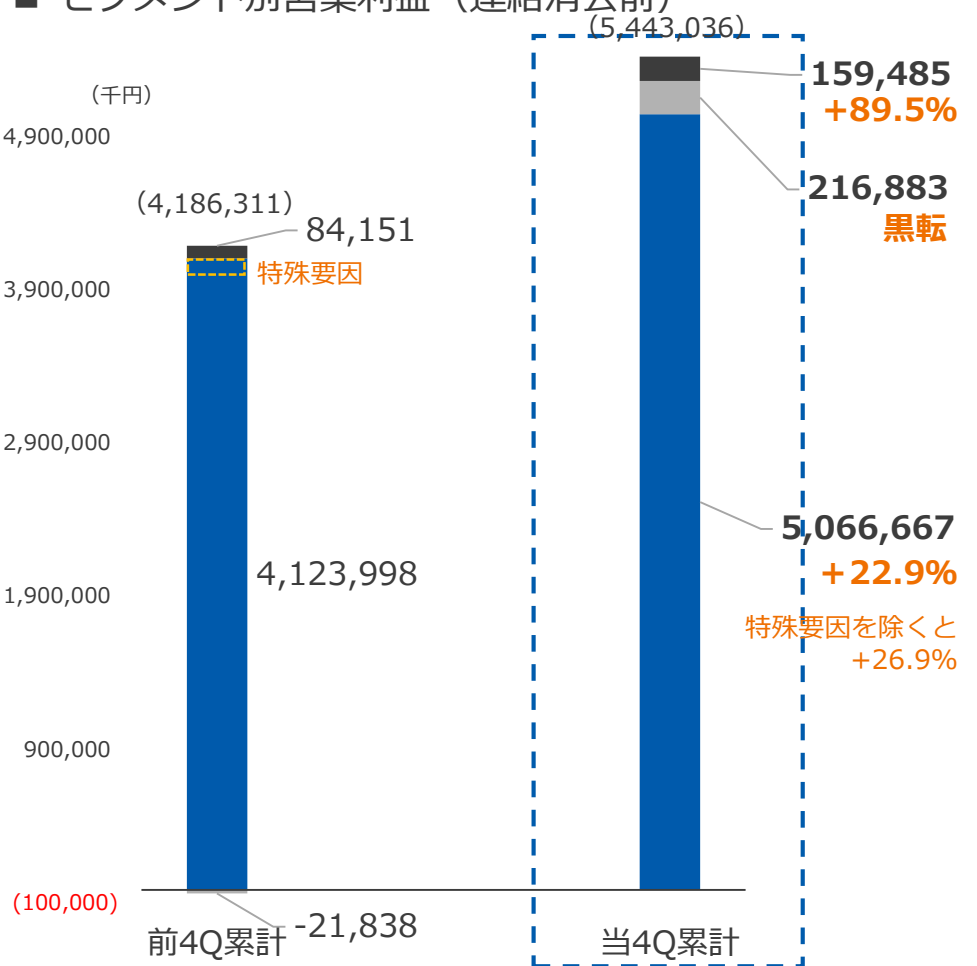
決済代行事業の営業利益は実質26.9%増

※ % : 前年同期比
() : 合計額

■ セグメント別売上高



■ セグメント別営業利益（連結消去前）



2. 当社のIssue

2.1 各種決済手段における当社の取り組み

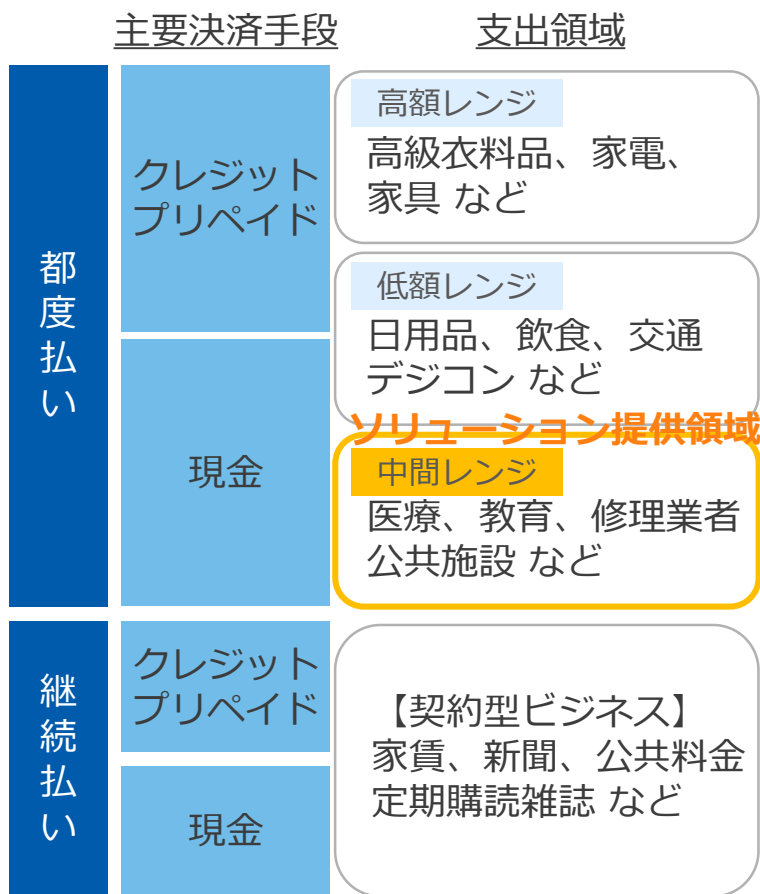
プレスリリース案件等と概要

レンディング	<ul style="list-style-type: none">● マネーフォワードと連携し、中小企業向けレンディングの開始 ⇒マネーフォワードの請求書・会計ソフトを利用する企業・個人事業者向けに展開	
後払い	<ul style="list-style-type: none">● 日本最大級のファッションショッピングサイト「ZOZOTOWN」に「GMO後払い」を提供開始	4.4.2
Global Payment	<ul style="list-style-type: none">● MACRO KIOSK社の子会社化 ⇒東南アジアにおける事業範囲を拡大	4.3.1
対面決済	<ul style="list-style-type: none">● GMOフィナンシャルゲートの子会社化 ⇒対面市場における決済のキャッシュレス化加速	4.2
新たな決済手段	<ul style="list-style-type: none">● 「PGマルチペイメントサービス」Apple Payへの対応開始	
口座振替	<ul style="list-style-type: none">● 横浜銀行の口座と連動したスマホ決済サービス『はまPay』を共同開発 ⇒スマホアプリから即時に口座引き落としによる支払いが可能に	2.2
コンビニ決済	<ul style="list-style-type: none">● 各大手コンビニ会社と直結	
デビットカード	<ul style="list-style-type: none">● 『北國Visaデビットカード』利用者向けスマホアプリの開発	
クレジットカード	<ul style="list-style-type: none">● 愛知県県税のクレジットカード納付開始 ⇒東京都・福岡市に続き、複数税目納付で自治体を支援	

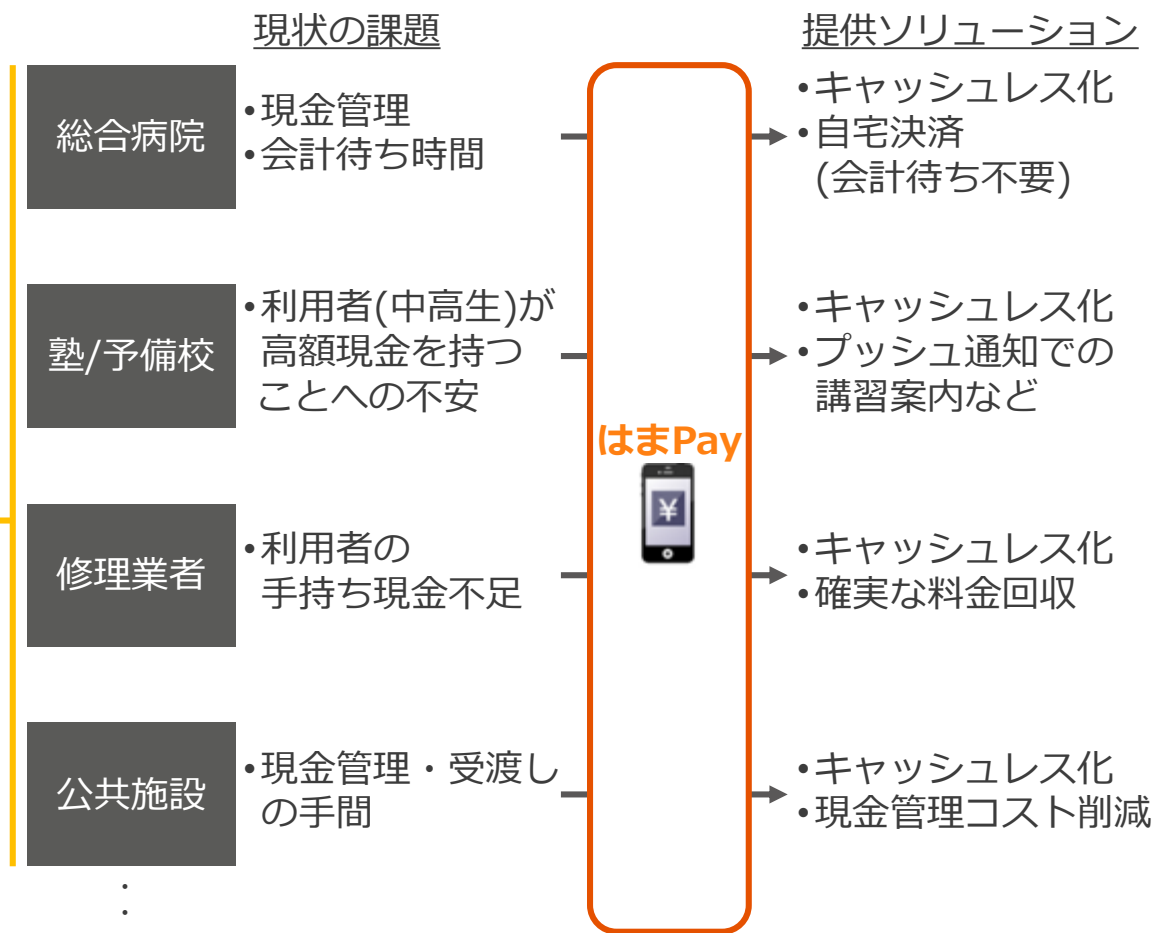
2.2 「はまPay」による提供ソリューション

現金が主流の領域を中心に、銀行が提供する新しい決済ソリューションをサポート

■ 「はまPay」 ソリューション提供領域



■ 提供ソリューション



3. 2017年9月期 業績予想

3.1 業績予想（サマリー）

営業利益31.2%増、株主還元は10円増配を予想

■ 2017年9月期

（単位：百万円、%は対前年同期比）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EBITDA
通 期	18,767 (54.9%)	5,013 (31.2%)	4,673 (23.6%)	2,762 (-5.1%)	5,811 (38.7%)
第2Q連結 累計期間	8,389 (46.4%)	2,499 (33.0%)	2,351 (22.5%)	1,409 (22.3%)	
配当予想	37円 (+10円)				

■ ポイント

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

● 売上高

- ・ MACRO KIOSKの損益は第2四半期会計期間より9ヶ月分（2016/10/1～2017/6/30）を取り込む予定
- ・ 「GMO後払い」ZOZOTOWN提供（11/1プレス済）分は予想に含まず

● 販管費

- ・ グループ会社増に伴うのれん償却予定（計約230百万円）

● 営業外費用

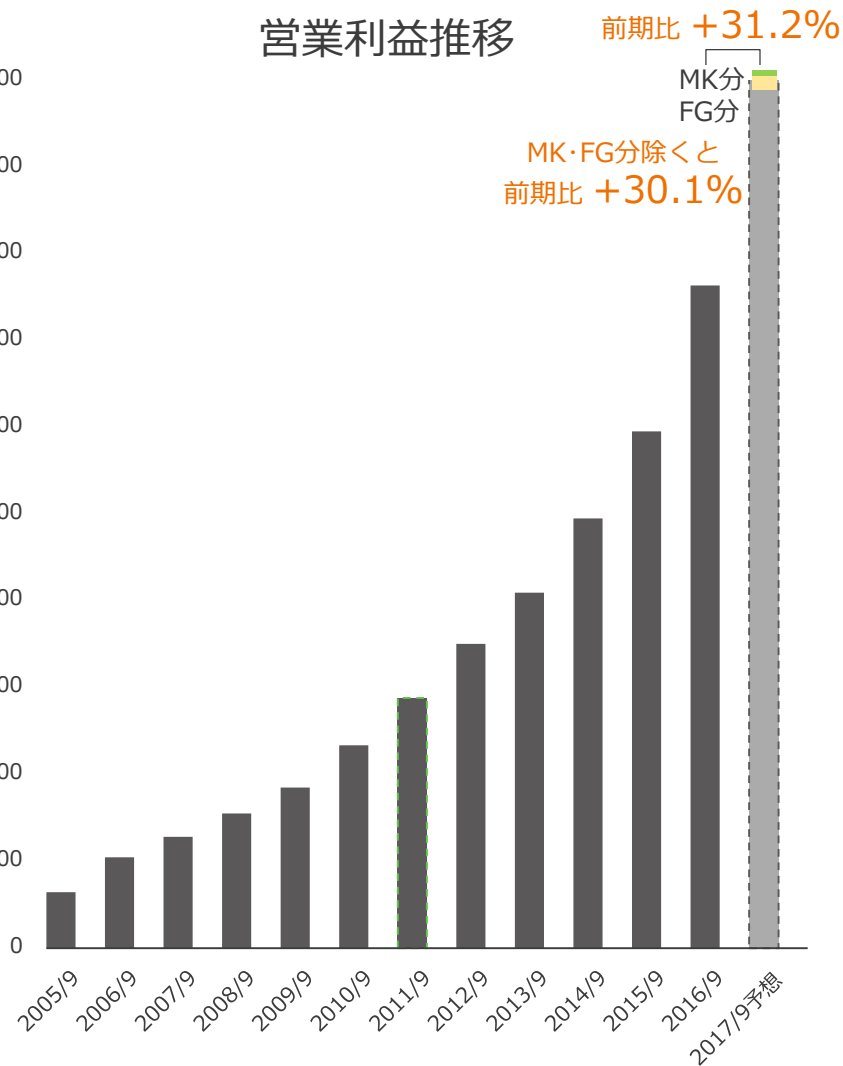
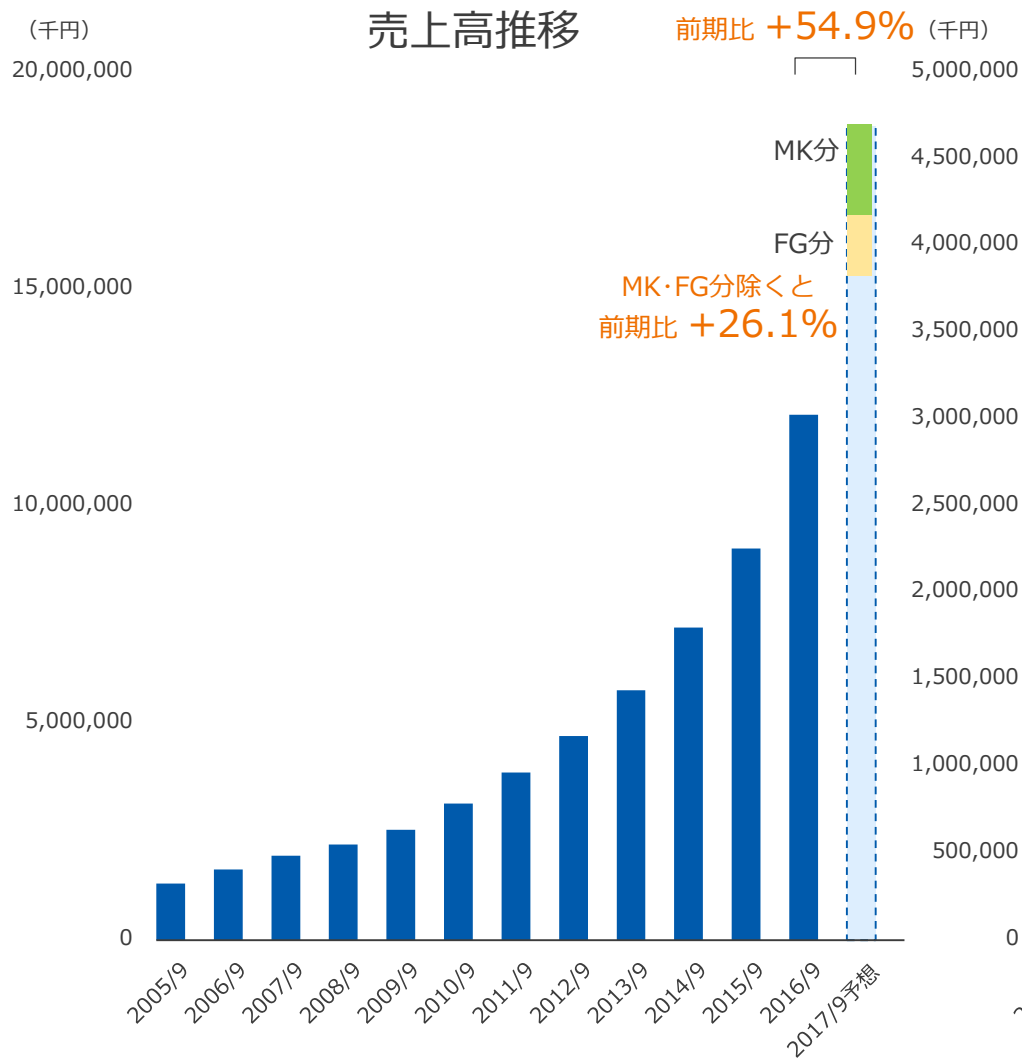
- ・ 持分法適用会社ののれん償却予定（約160百万円）

● 配当予想

- ・ 好調な事業計画を踏まえ、配当開始以来の連続増配継続により一層の株主還元強化を図り、中長期的な企業価値向上に資するべく、連結配当性向を50%とする

3.2.1 業績予想

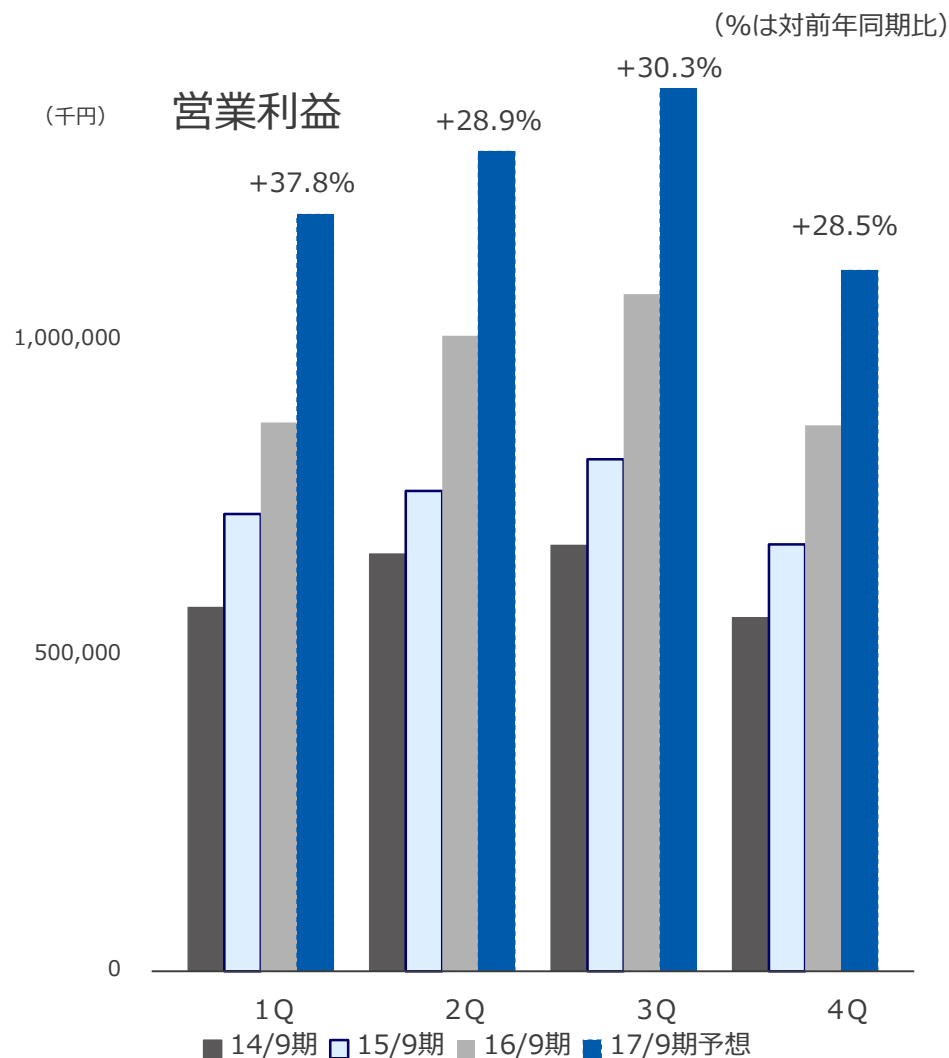
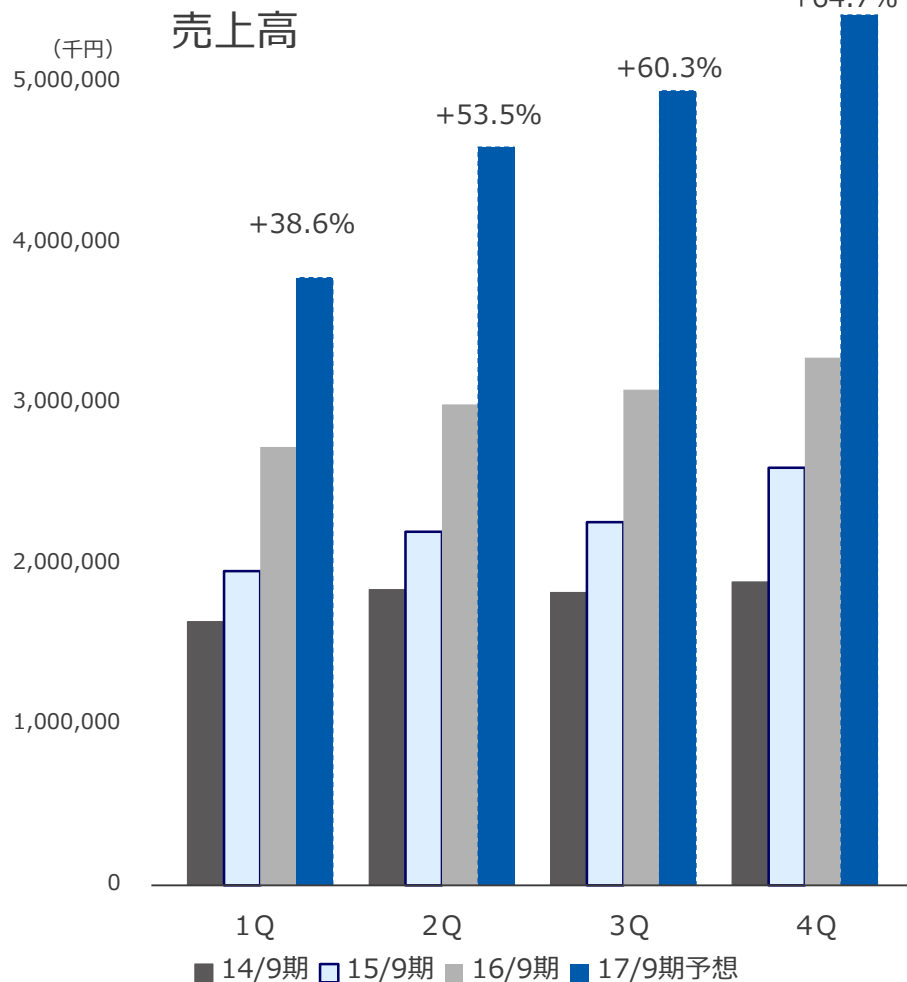
二次曲線の成長ライン、売上高54.9%増、営業利益31.2%増



3.2.2 業績予想（四半期推移）

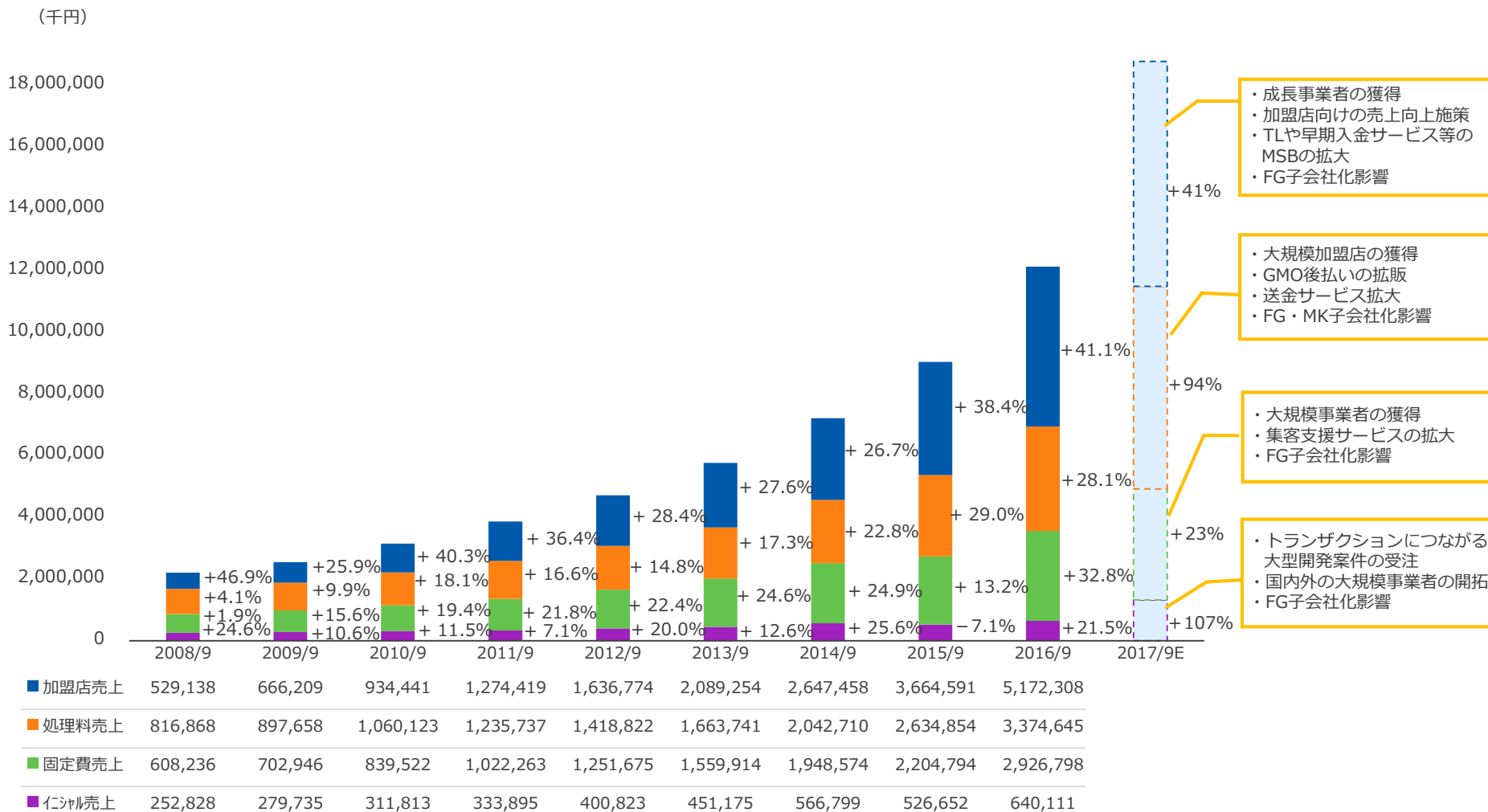
四半期推移予想

■ 2017年9月期 業績予想（連結）



3.2.3 業績予想（ビジネスモデル別）

各種施策により各ビジネスモデルの持続的成長を目指す



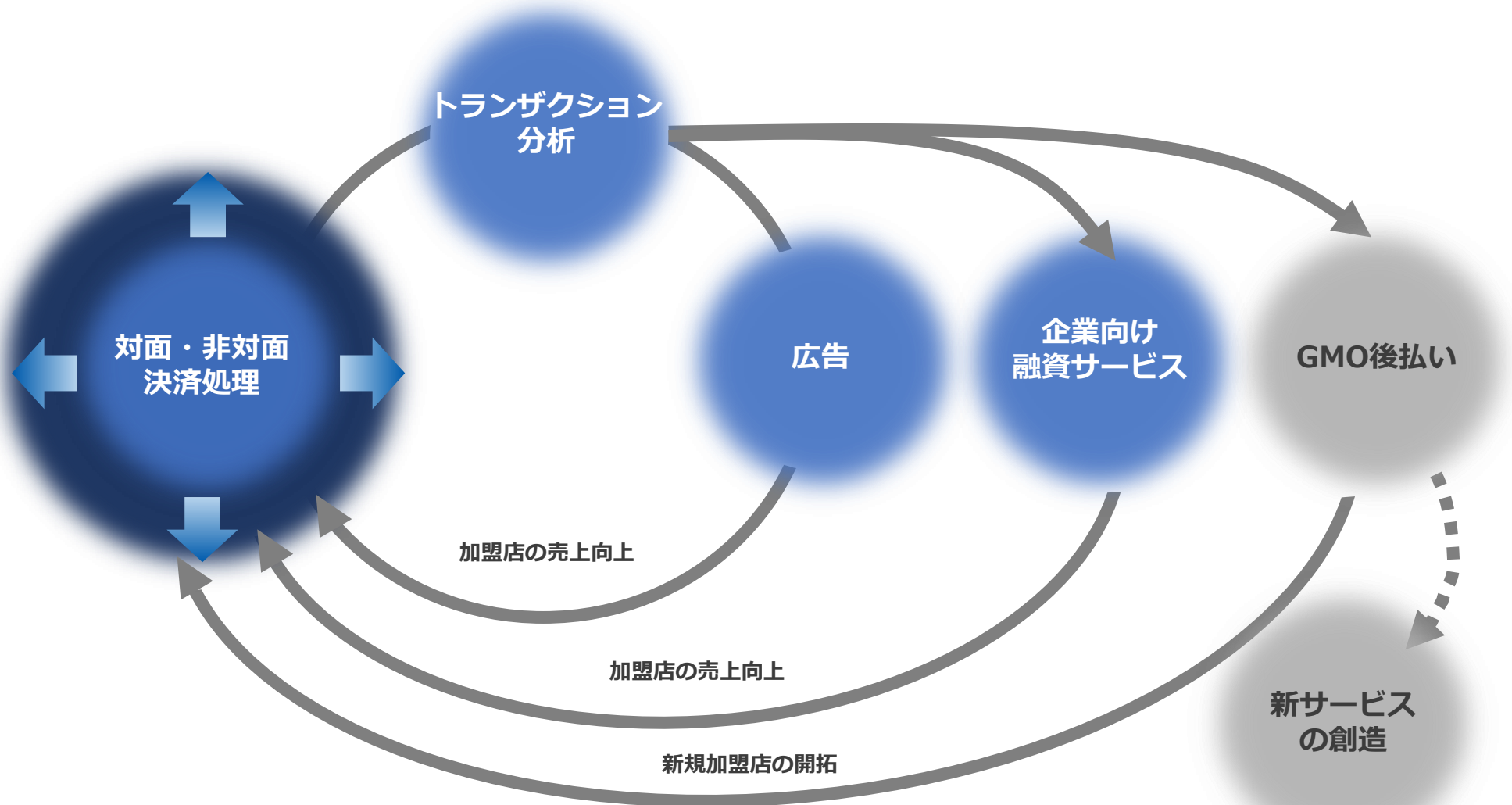
※MK : MACRO KIOSK、FG : GMOフィナンシャルゲート

※%は対前年同期比

4. 今後の成長戦略

4.1 還流モデル

顧客の売上向上策が決済サービスに還流し拡大を続けるエコシステム



4.2 対面決済市場：環境変化とPGグループの対応

対面決済市場において生じている変化を成長領域として取り込むべく GMO-FGをグループ会社化

■ 市場環境の変化と新たな成長領域

市場環境 の変化

- ・インバウンド増加に伴う決済セキュリティ強化の必要性
- ・オリンピックに向けたキャッシュレス化ニーズ
- ・IoTデバイス・技術の登場

対面決済 の 成長領域

- ・EMV対応端末への入れ替え需要
- ・新型キャッシュレス決済装置の設置拡大
- ・決済 X IoTマネタイズ

当社の 対応

- ・GMO-FGおよびGCSをグループ化
- ・対面決済市場の成長領域を確実に捉える体制を構築

■ 出資構成および事業領域



非対面市場(EC)

65%
出資 ↓



大型
加盟店

100%
出資 ↓



中小
加盟店

対面市場

4.3.1 海外事業：ASEANの現状/MKグループ化の意図

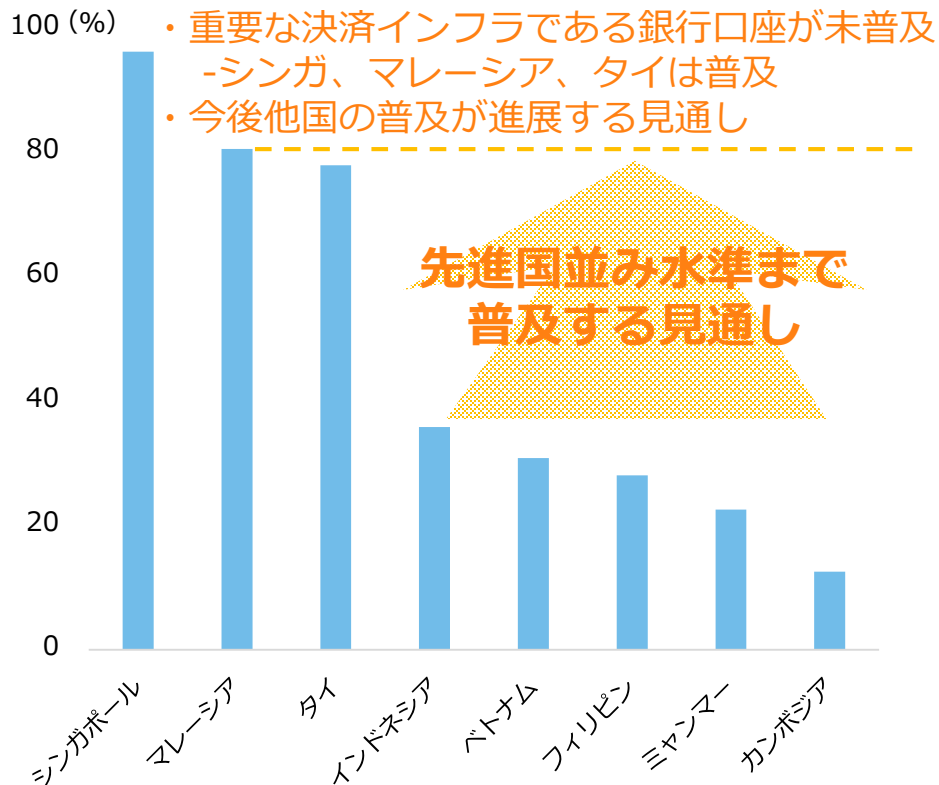
海外事業の
ミッション

ASEAN6億人の経済圏に対する便利な決済手段の提供

ASEANの現状と今後のポテンシャル

MacroKioskグループ化の意図

■ ASEAN国別 銀行口座開設率



■ MKの事業展望

- ・ ミッション実現に向けASEAN銀行基盤の獲得は不可欠
- ・ ASEANの口座普及の波を捉えるべく、マレーシアのほぼ全銀行を顧客に持ち、他国へも展開するMKをグループ化

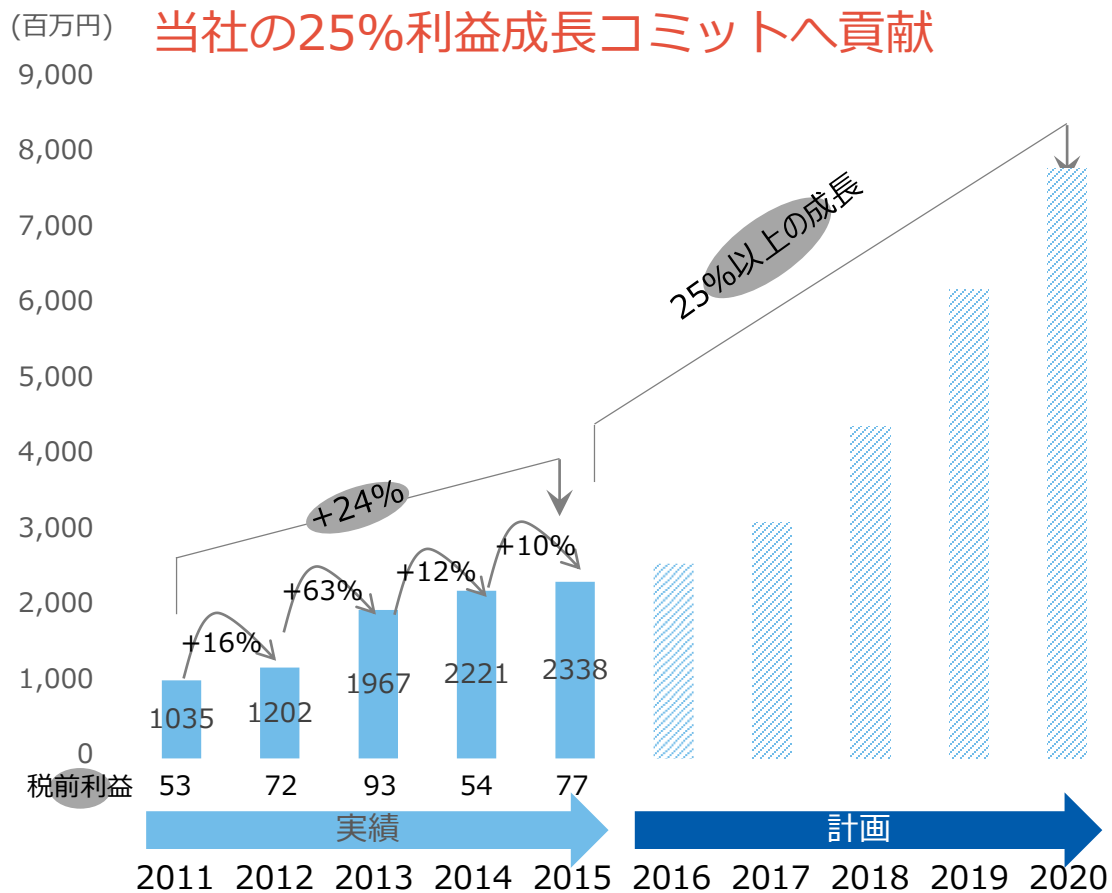


※出典：THE WORLD BANK「World Development Indicators」

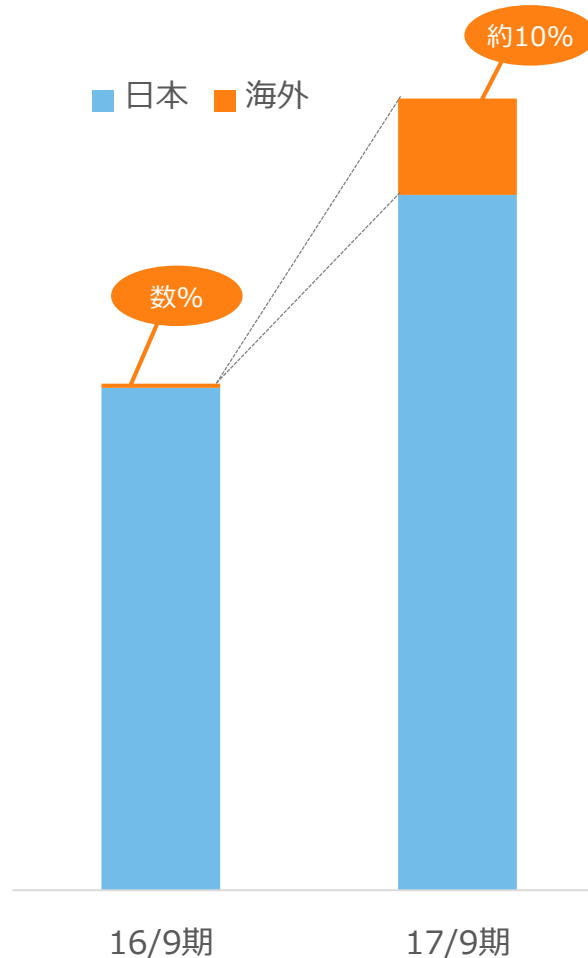
4.3.2 海外事業：MK業績見通し/海外比率

MKは当社業績の成長に大きく貢献。海外売上高比率は一気に約10%へ

■ MK業績見通し

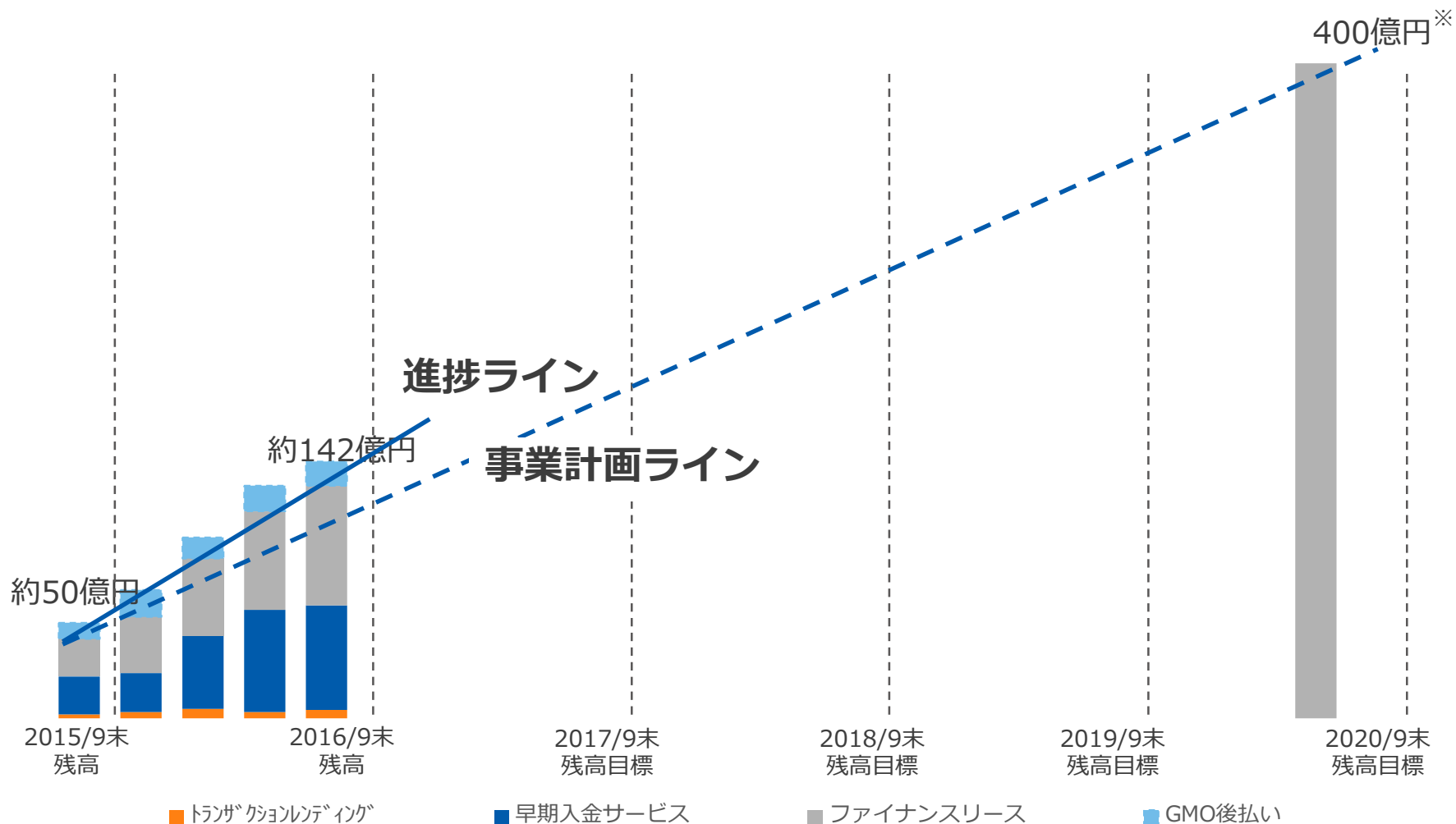


■ PGグループ海外売上高比率



4.4.1 マネーサービスビジネス（MSB）の拡大

事業計画ラインを上回るMSB関連アセットの積み上がり

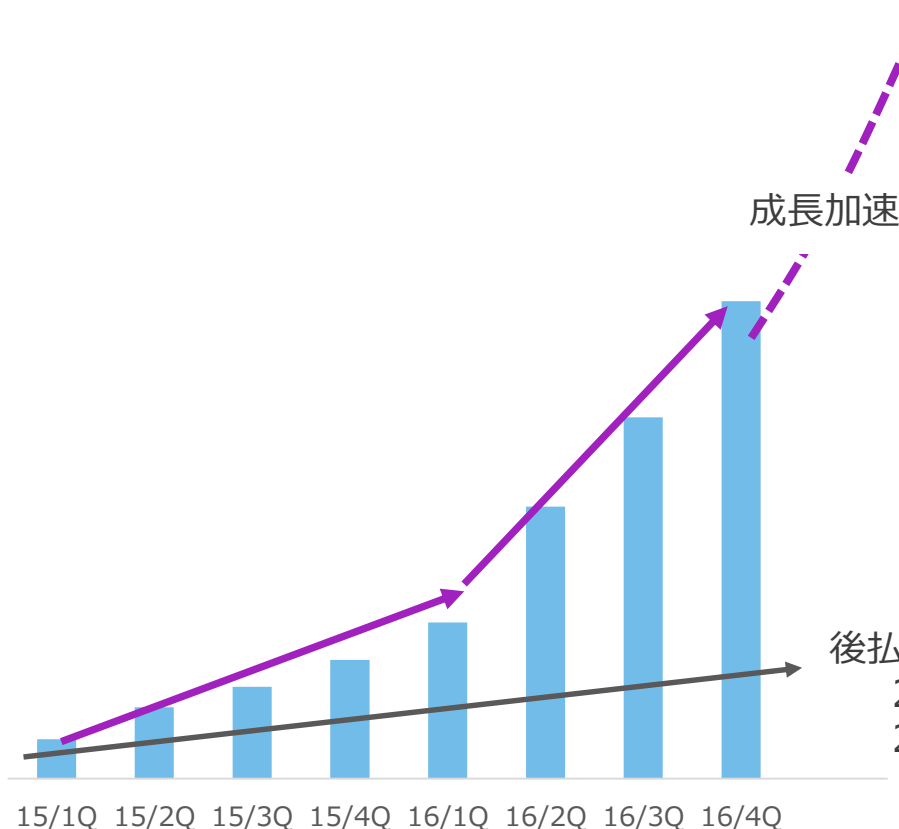


※2015年6月9日「資本業務提携及び第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」記載の事業計画

4.4.2 マネーサービスビジネス（MSB）：GMO後払い

GMO後払い好調、市場成長+大手アパレルECへの導入により更に成長加速

■ GMO後払い決済処理金額



■ GMO後払い決済処理金額

GMO PAYMENT GATEWAY

日本最大級のファッションショッピングサイト
「ZOZOTOWN」に「GMO後払い」を提供開始



- ✓ **決済処理件数・金額の急増**
- ✓ **後払い利用者の増加**
- ✓ **後払い導入店舗の増加**

後払い決済市場のオーガニックな成長ライン

2010年～2014年：年平均**40.4%**成長

2020年：5,500億円規模

※PS決済処理金額は
前年比**1.7倍**

※参考：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2016年版」

Copyright (C) 1995 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.

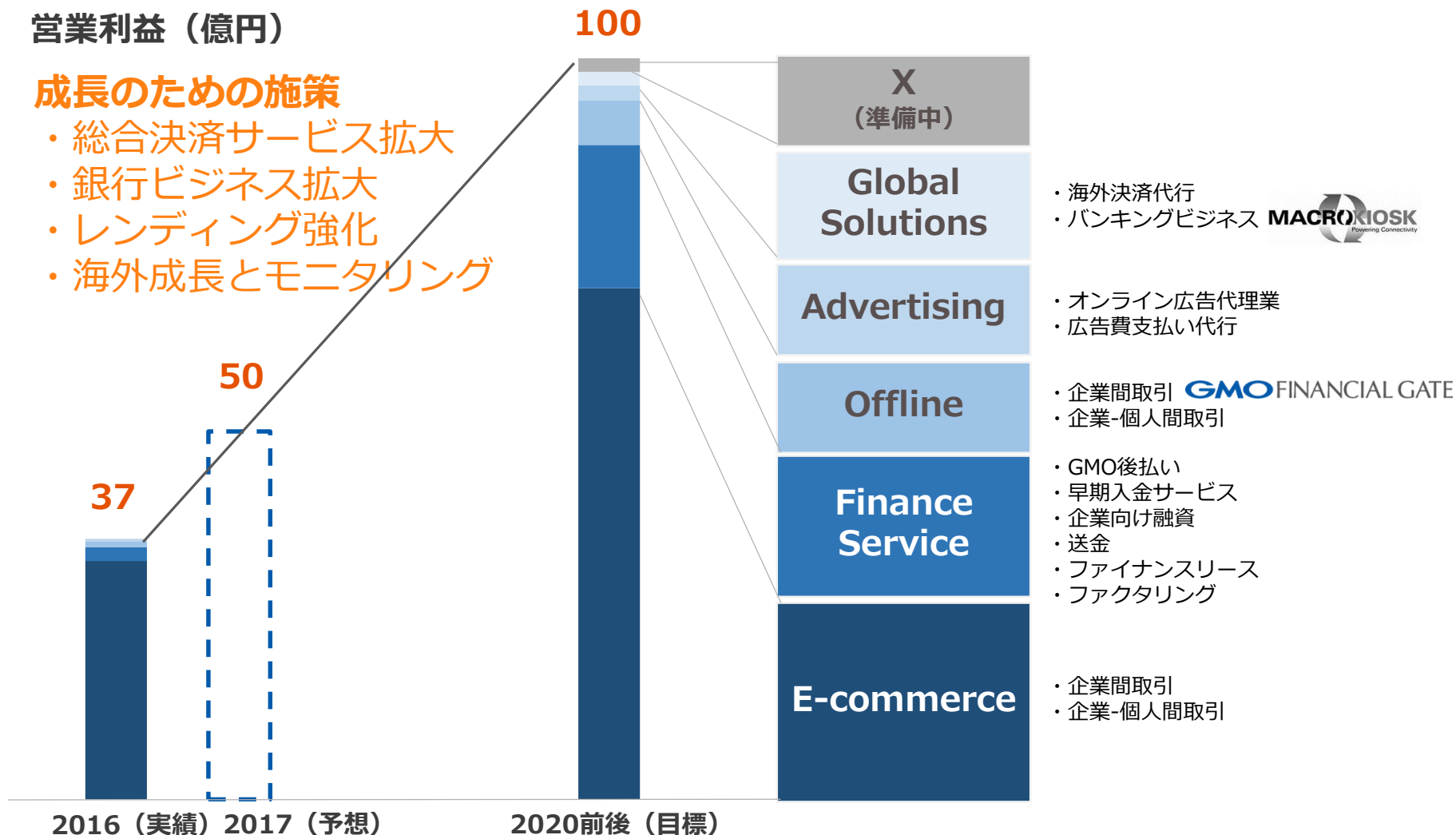
4.5 中期利益目標

事業領域拡大：FinTech領域から対面領域、更に海外展開を本格化

営業利益（億円）

成長のための施策

- ・ 総合決済サービス拡大
- ・ 銀行ビジネス拡大
- ・ レンディング強化
- ・ 海外成長とモニタリング



5. 財務ハイライト

5.1 連結貸借対照表

マネーサービスビジネスの進捗は流動資産の部に反映

(百万円)	16年9月期 4Q末実績	15年9月期 4Q末実績	増減	(百万円)	16年9月期 4Q末実績	15年9月期 4Q末実績	増減
流動資産	45,549	38,469	7,079	流動負債	35,330	25,448	9,882
現金及び預金	25,231	30,152	△4,921	預り金	27,634	21,184	6,449
リース債権	7,291	2,293	4,997	代表加盟サービスによる加盟店の預り金			
前渡金	6,388	2,303	4,085	※加盟店の締め日・支払サイクルの変化により 加盟店売上の増加ペースと乖離が発生			
未収入金	1,742	1,156	585	早期入金サービス拡大 (BS残高は連結処理(相殺)後)	2,784	1,911	872
貸倒引当金	△327	△186	△141	GMO後払い増加 その他の流動負債	4,912	2,352	2,560
その他の流動資産	5,222	2,748	2,473	固定負債	332	197	135
固定資産	9,222	3,362	5,860	TL残高(短期貸付金)は「その他流動資産」に含まれております。	18,305	16,067	2,238
有形固定資産	352	215	136	株主資本			
無形固定資産	3,698	934	2,763	資本金	4,712	4,711	1
うちソフトウェア	1,079	751	327	その他の包括利益 累計額	△145	116	△261
投資その他の資産	5,171	2,211	2,959	純資産合計	19,108	16,186	2,921
資産合計	54,771	41,831	12,939	負債・純資産合計	54,771	41,831	12,939

※MSB拡大に伴う資金として10月末時点で約40億円の借入を実施

5.2 キャッシュフロー表

MSB拡大と時機を捉えた積極投資により一時的にキャッシュ残高が減少

(単位：百万円)

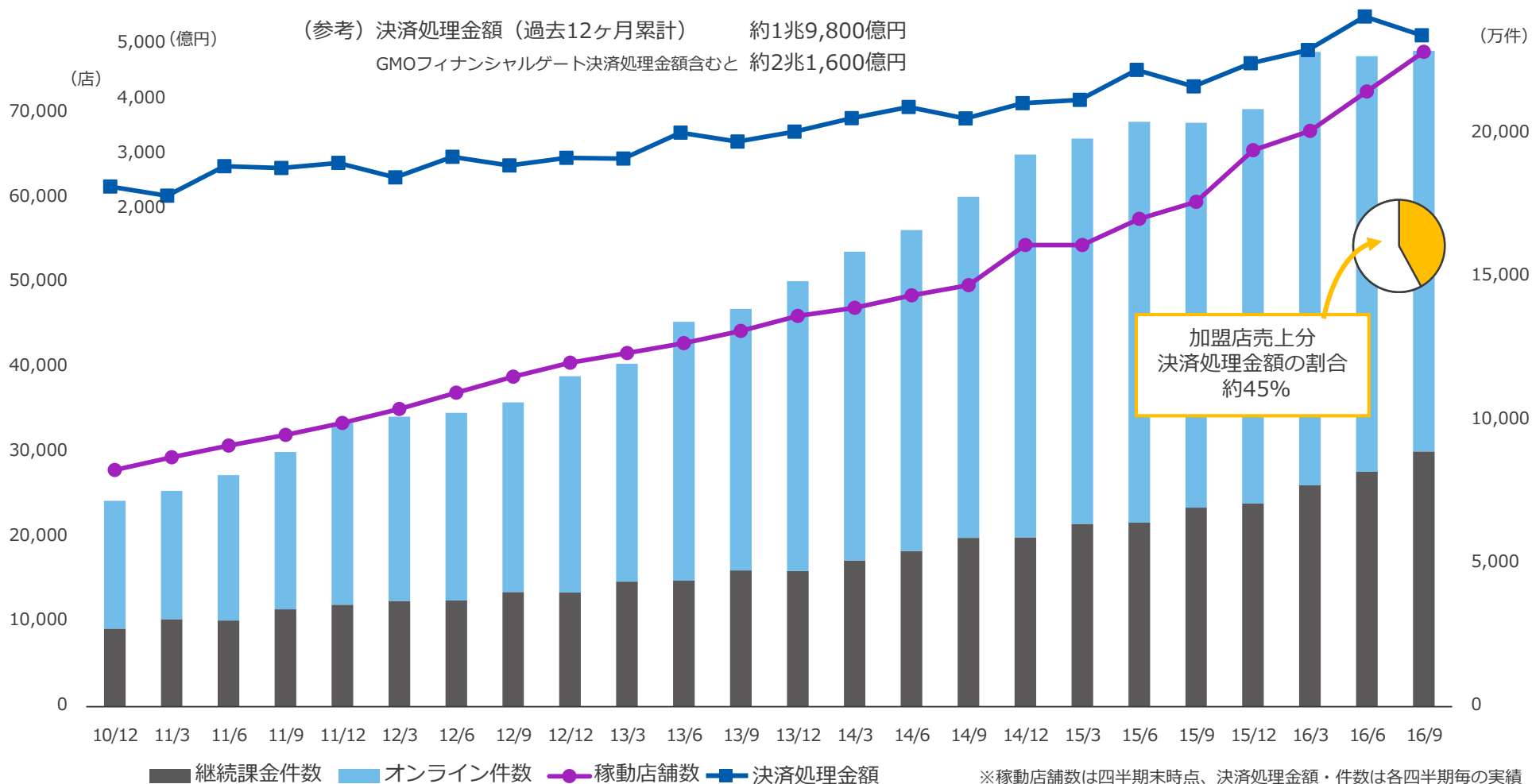
	15/9期 累計	16/9期累計 実績
営業活動CF	3,709	-748
投資活動CF	-1,374	-3,415
財務活動CF	7,398	-654
キャッシュ換算差額	30	-107
キャッシュ増減額	9,764	-4,926
キャッシュ期末残高	30,113	25,187

※MSB拡大に伴い10月末時点で約40億円の借入を実施済

5.3 主要KPI推移 (四半期推移)

決済処理金額は約2兆円に増大

稼働店舗数 77,256店、決済処理金額 約5,000億円、決済処理件数 約2億3,400万件



6. 参考資料等

6.1 連結業績サマリー

売上・利益とも予想を上回り最高益を更新

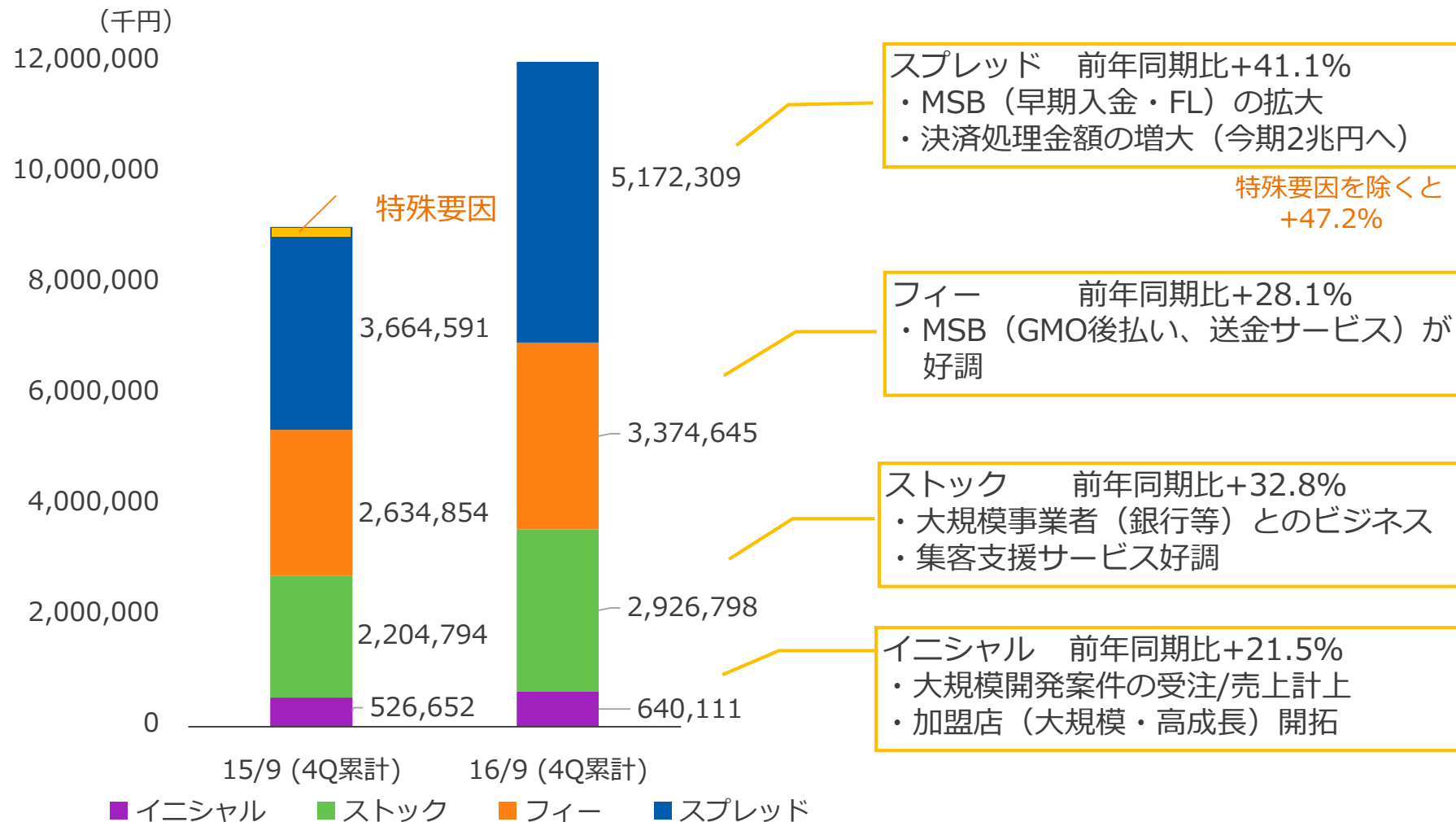
(百万円)	16年9月期4Q累計		前期比		15年9月期4Q累計	
	実績	構成比 (%)	増減額	前期比 (%)	実績	構成比 (%)
売上高	12,113	100%	3,082	+34.1%	9,030	100%
売上原価	2,769	22.9%	849	+44.3%	1,919	21.3%
売上総利益	9,344	77.1%	2,233	+31.4%	7,111	78.7%
販売費及び 一般管理費	5,524	45.6%	1,390	+33.6%	4,133	45.8%
営業利益	3,819	31.5%	842	28.3%	2,977	33.0%
経常利益	3,780	31.2%	780	26.0%	3,000	33.2%
純利益	2,910	24.0%	1,057	57.1%	1,853	20.5%
一株当たり 純利益 (円)	78円36 銭	-	-	-	52円60銭	-
EBITDA	4,191	-		28.0%	3,274	-

※当社は、2015年6月25日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式2,587,300株を発行しております。

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

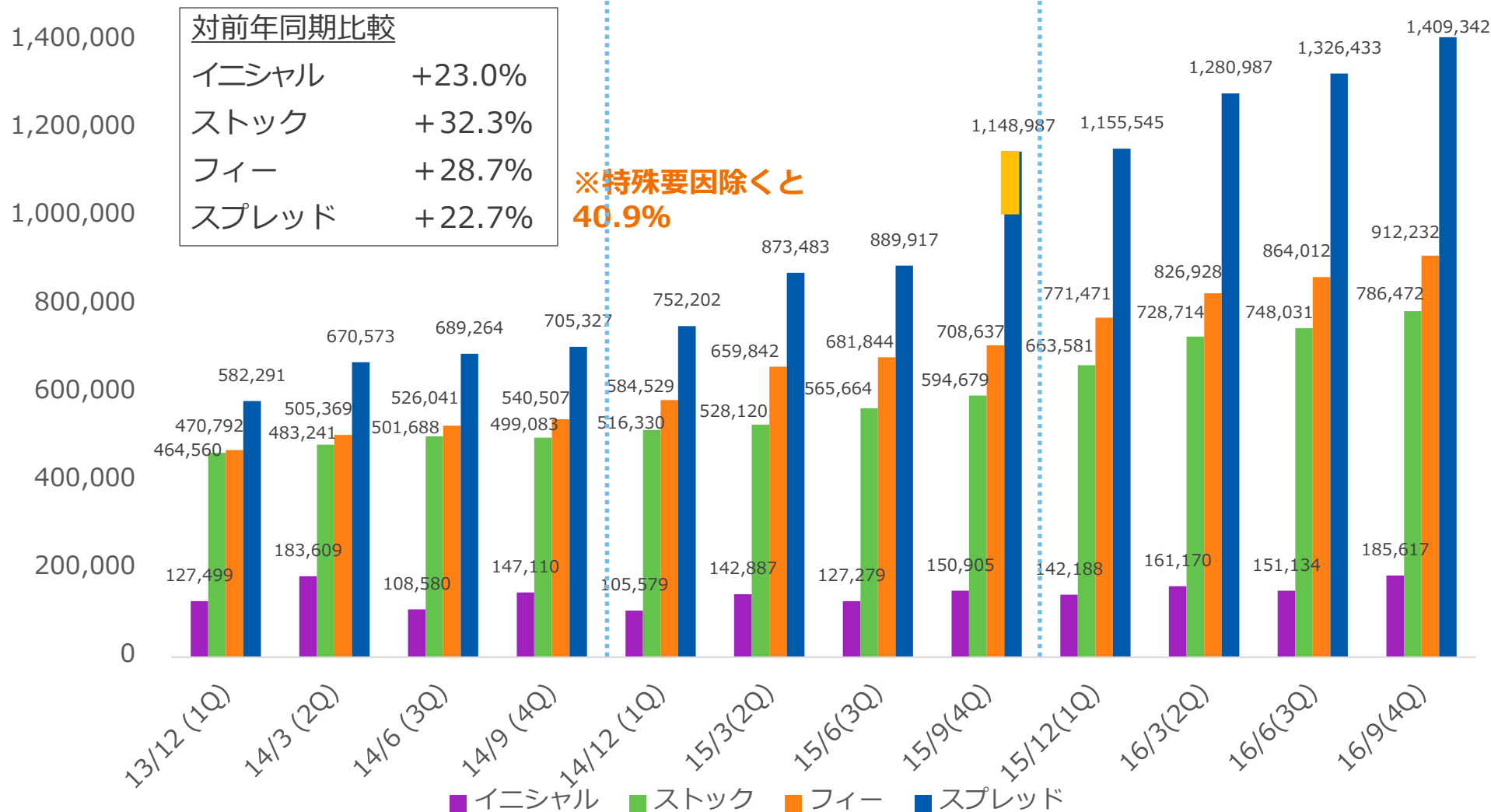
6.2 ビジネスモデル別売上高（累計）

決済処理金額増大とMSBの伸長によりスプレッドは実質47.2%増



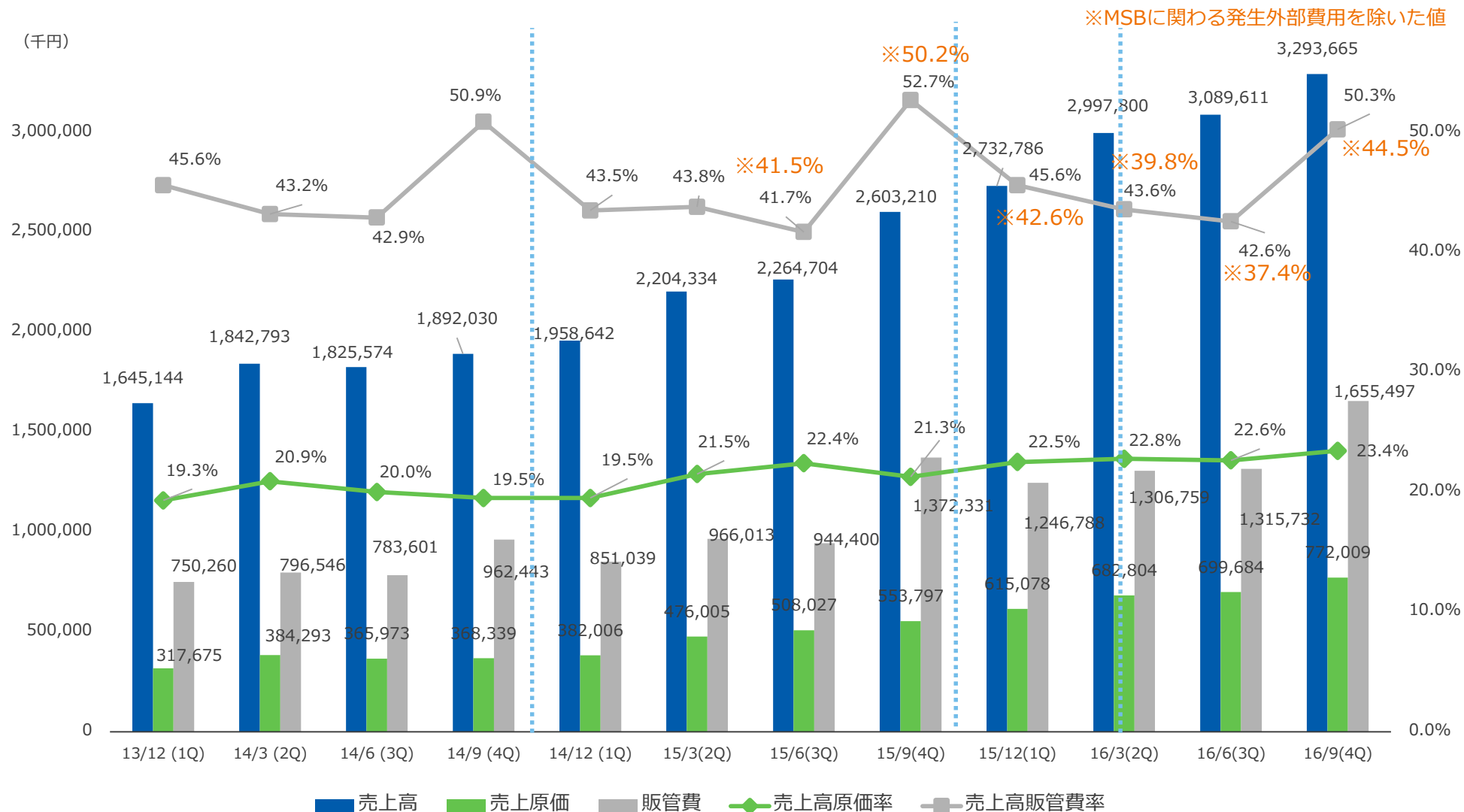
6.3 品目別売上（四半期推移）

スプレッド収益 + 22.7%

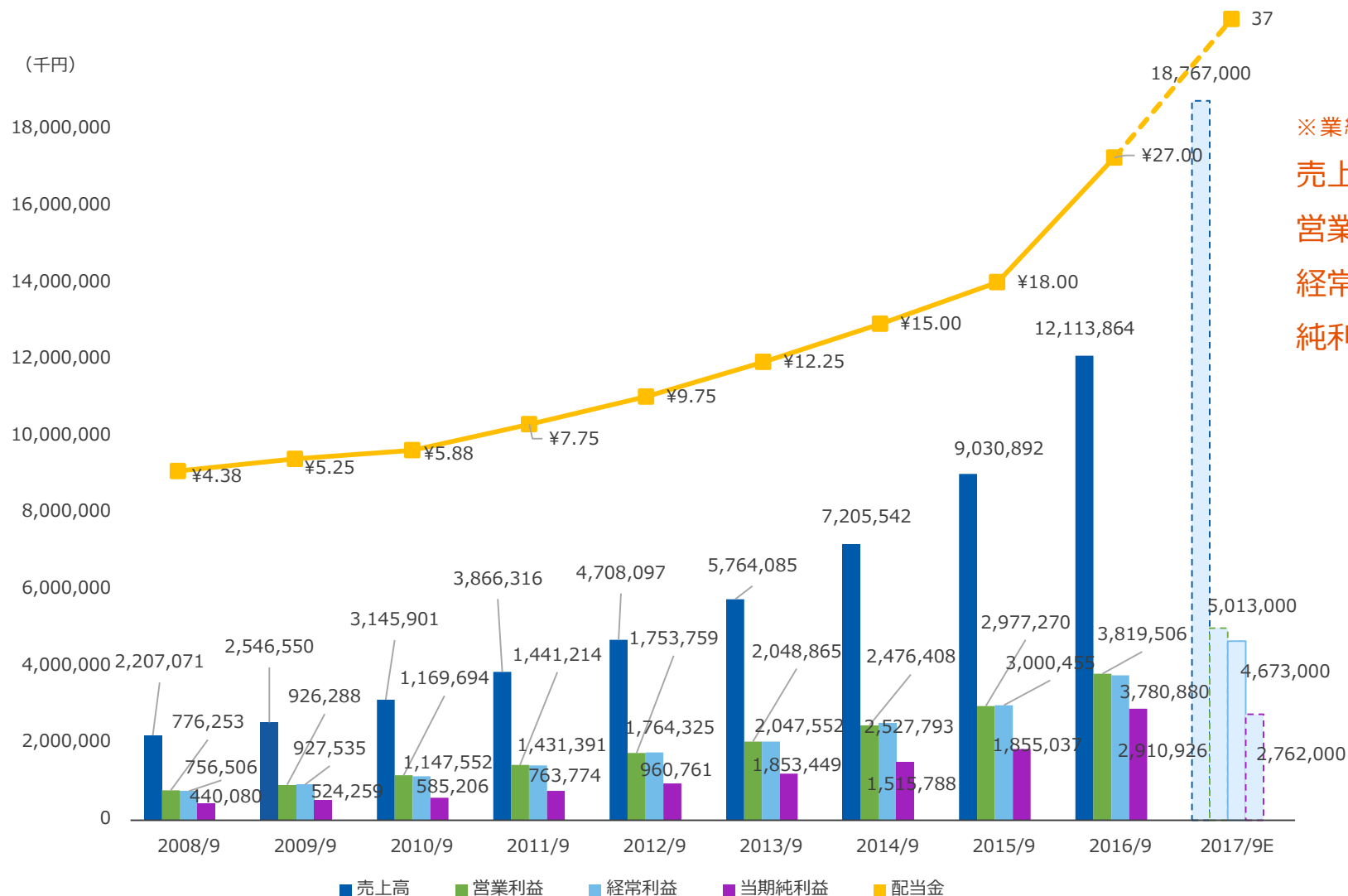


6.4 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

売上構成比の変化により原価率が変動

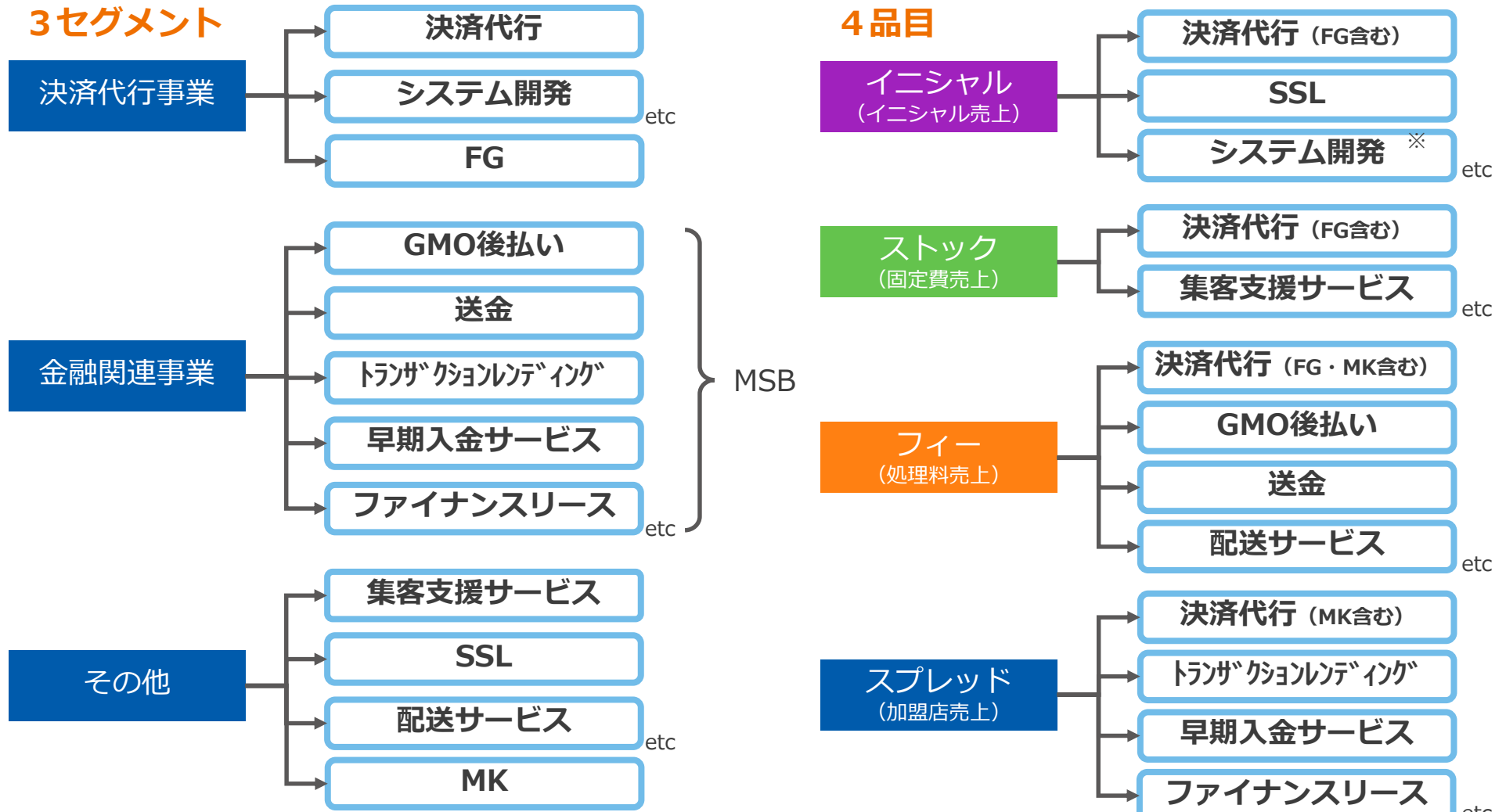


6.5 連結業績推移サマリー（2017/9期予想）



6.6 報告セグメント・品目・サービスの整理

今期より3つの報告セグメント、4つの品目により情報提供



※MK : MACRO KIOSK、FG : GMOフィナンシャルゲート

ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR室までご連絡ください。

IR室 TEL:03-3464-0182